



計画の進行管理

## 1 進行管理

毎年、設定した各目標指標を中心に達成度を確認し、事業進捗上の問題点・課題を把握するとともに、着実な目標達成に向けて事業執行等について見直しを行っていきます。

その結果については、県民と行政の課題共有や透明性の確保のため、県庁ホームページなどを通じて公表します。

## 2 目標指標一覧表

項目	単位	計画時 (H26)	目標値	実績値	目標値
			(H30)	(R6)	(R6)
安心な暮らしを守る強靱な県土づくり					
浸水対策が行われた地区数	地区	—	45	44	84
近年の豪雨実績を反映させた治水対策着手箇所数	箇所	—	—	5	22
土砂災害対策施設整備率	%	28.7	30.1	29.5	32.1
土砂災害警戒区域* <sup>18)</sup> 指定率	%	21.3	57.8	67.6	100 (R2)
緊急輸送道路* <sup>9)</sup> における橋梁耐震化率 (昭和55年より古い基準により設計されたもの)	%	86	97	94	100 (R1)
緊急輸送道路* <sup>9)</sup> における橋梁耐震化率 (平成8年より古い基準により設計されたもの)	%	—	—	0	40
耐震強化岸壁の整備数	施設	2	2	3	4
市町村の国土強靱化地域計画* <sup>21)</sup> の策定数	件数	—	—	1	18 (R2)
県管理道における法指定通学路* <sup>26)</sup> の歩道整備率	%	73.5	77	77.2	80
平成25年度までの点検で確認された、早期対策が必要な橋梁の対策率	%	30	100	99	100 (R1)
平成30年度までの点検で確認された、早期対策が必要な橋梁の対策率	%	—	—	—	100
活力と潤いのある魅力的な地域づくり					
対策を講じる主要渋滞箇所* <sup>31)</sup> 数	箇所	—	20	19	30
1人当たりの都市公園面積	m <sup>2</sup> /人	13.1	13.2	13.4	13.6
都市内の街路整備延長	km	502	506	507	510
生活排水処理率	%	72.3	78.1	76.9	88.2
県営住宅住戸内バリアフリー整備戸数の割合	%	31.2	33.3	34.1	35
発展を支える交通ネットワークの充実					
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合	%	73	76	76	78
九州の東の玄関口としての拠点化主要施設* <sup>47)</sup> まで概ね30分で到達できる地域の割合	%	—	—	52	54
地域高規格道路整備延長	km	67	77	77	100
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落	集落	—	71	58	150
新規バースの整備延長 ※専用岸壁除く	m	—	130	130	270
県内港湾の公共埠頭取扱貨物量	千ft	—	—	41,500	45,000

### 3 持続可能な社会を目指して～SDGsの実現～

平成27年（2015年）9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなすSDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）は、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成される国際目標であり、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を不可分なものとして統合的に解決することを目指しています。

地球上の誰一人取り残さないことを基本方針としているSDGsの理念は、「安心」「活力」「発展」の基本目標のもと、将来とも発展可能性豊かな大分県をつくっていく本県の取組と軌を一にするものであり、引き続き、「安心・活力・発展」の大分県づくりを進めることによって、持続可能な社会の実現を図ります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



（参照）持続可能な開発のための2030アジェンダ（国際連合広報センター）

[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

#### 【参考】持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

目標1（貧困）	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2（飢餓）	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3（保健）	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4（教育）	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5（ジェンダー）	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6（水・衛生）	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7（エネルギー）	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8（経済成長と雇用）	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の安全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。
目標9（インフラ、産業化、イノベーション）	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10（不平等）	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11（持続可能な都市）	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12（持続可能な生産と消費）	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13（気候変動）	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14（海洋資源）	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15（陸上資源）	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16（平和）	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17（実施手段）	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

「大分県土木建築部長期計画 おおいた土木未来プラン 2015」とSDGsの関連表

SDGsの17のゴール		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
おおいた土木未来プラン 2015の分野別政策		貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長と雇用	インフラ産業化、イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段	
安心	1 治水対策の推進																		
	2 土砂災害対策の推進																		
	3 地震・津波、高潮対策の推進																		
	4 交通安全対策の推進																		
	5 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理																		
	6 危機管理体制の構築																		
活力	1 快適な都市空間の形成																		
	2 潤いのある水環境の創出																		
	3 快適な住まいづくりの推進																		
	4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援																		
発展	1 広域道路ネットワークの構築																		
	2 地域道路ネットワークの充実																		
	3 海上輸送拠点の強化																		
取組に当たっての視点	1 県民参加型行政の推進																		
	2 効率的・効果的な事業の推進																		
	3 自然環境や周辺環境などへの配慮																		
	4 人づくりへの推進																		